

# 令和5年度 第2回市政モニターアンケート調査結果

## 1 アンケート内容

### (1) アンケートテーマ

文化財建造物に関するアンケート(所管課:文化財課)

### (2) アンケート目的

姫路市が有する豊富な文化財建造物について、これから市が文化財の保存・活用に取り組む上での参考とするため

### (3) アンケート項目

14項目

- ・文化財に興味があるか
- ・どのような機会に文化財に接するか
- ・姫路市の文化財建造物について
- ・文化財に指定された古民家の活用方法 など

### (4) アンケート対象

令和5年度市政モニター(225名)

令和5年度高校生モニター(52名)

### (5) アンケート方法

姫路市公式アプリ「ひめじプラス」のアンケート機能を活用

### (6) アンケート期間

令和5年6月7日(水)から令和5年6月20日(火)まで

## 2 回答状況

### (1) 有効回答数

221

### (2) 回答率

79.7%

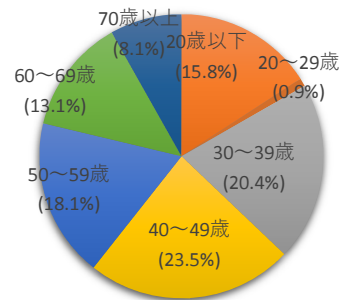
### (3) 回答集計

次ページ以降のとおり

## アンケート回答者の属性

### 年齢

20歳以下	35	(15.8%)
20～29歳	2	(0.9%)
30～39歳	45	(20.4%)
40～49歳	52	(23.5%)
50～59歳	40	(18.1%)
60～69歳	29	(13.1%)
70歳以上	18	(8.1%)



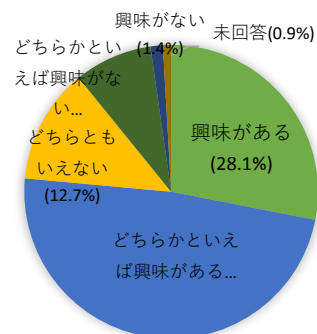
### 性別

男性	62	(28.0%)
女性	158	(71.5%)
その他	1	(0.5%)

## 質問1

文化財に興味がありますか。

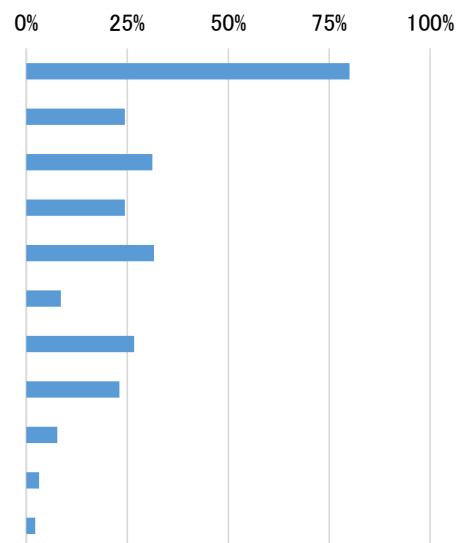
1 興味がある	62	(28.1%)
2 どちらかといえば興味がある	107	(48.4%)
3 どちらともいえない	28	(12.7%)
4 どちらかといえば興味がない	19	(8.6%)
5 興味がない	3	(1.4%)
6 未回答	2	(0.9%)



## 質問2

どのような機会に文化財に接しますか(回答チェックは3つまで)。

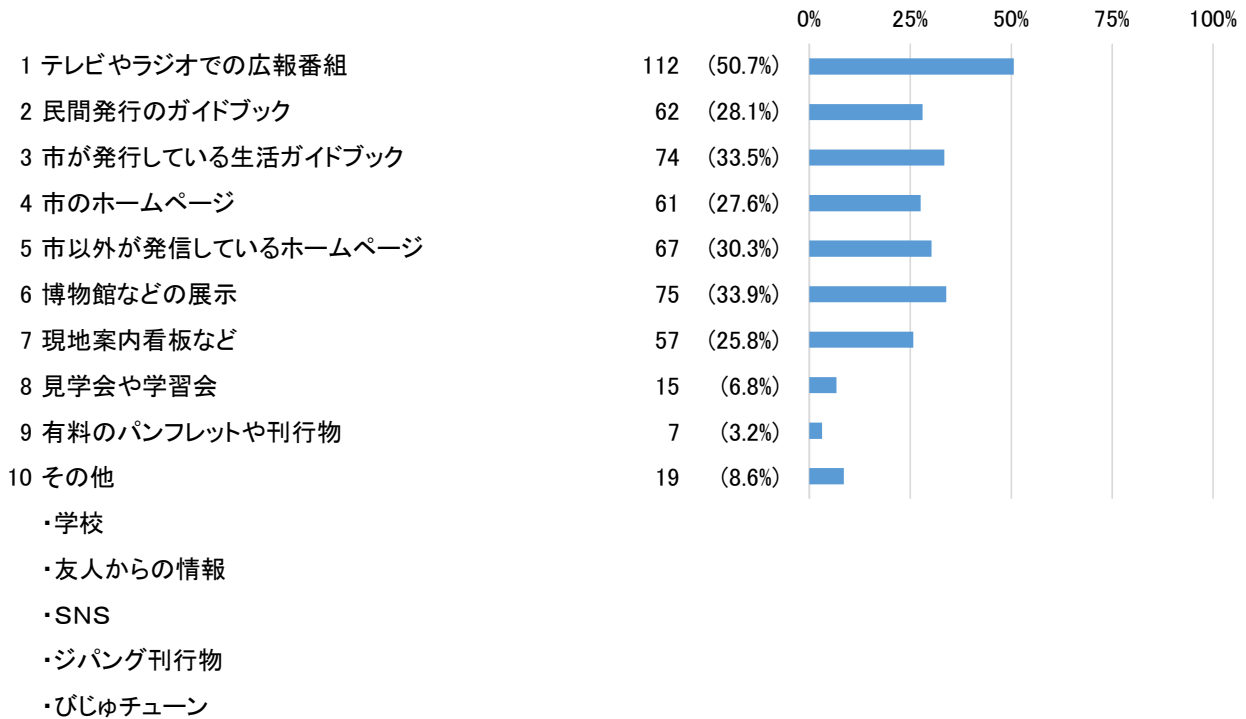
1 旅行等で近くに立ち寄ったついでに	177	(80.1%)
2 趣味・教養として	54	(24.4%)
3 祭りなどの年中行事	69	(31.2%)
4 文化財特別公開	54	(24.4%)
5 博物館等の企画展	70	(31.7%)
6 講座・セミナー	19	(8.6%)
7 映画・テレビ・雑誌等のメディア	59	(26.7%)
8 インターネット・SNS	51	(23.1%)
9 アートや音楽等のコラボイベントのとき	17	(7.7%)
10 文化財に接する機会はない	7	(3.2%)
11 その他	5	(2.3%)



- ・パワースポット巡り
- ・実家の古文書等
- ・登校でみる
- ・子どもが学校で習ったら行くようにしている
- ・発掘調査現場

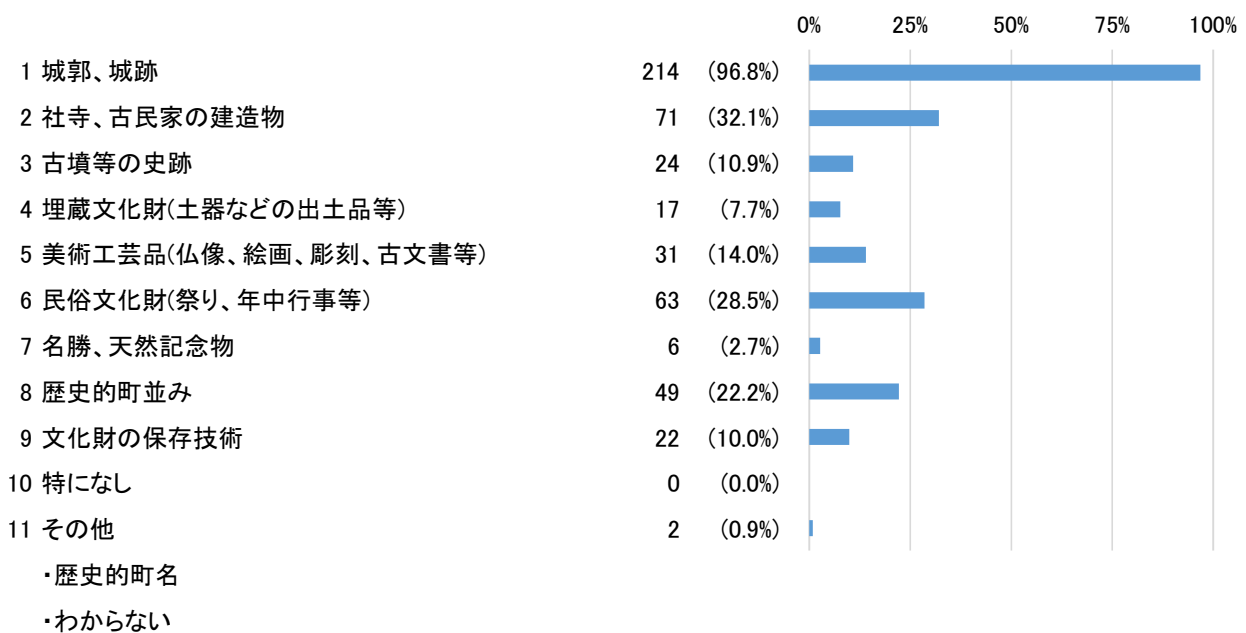
### 質問3

文化財について情報収集する場合、どのような情報媒体を利用しますか(回答チェックは3つまで)。



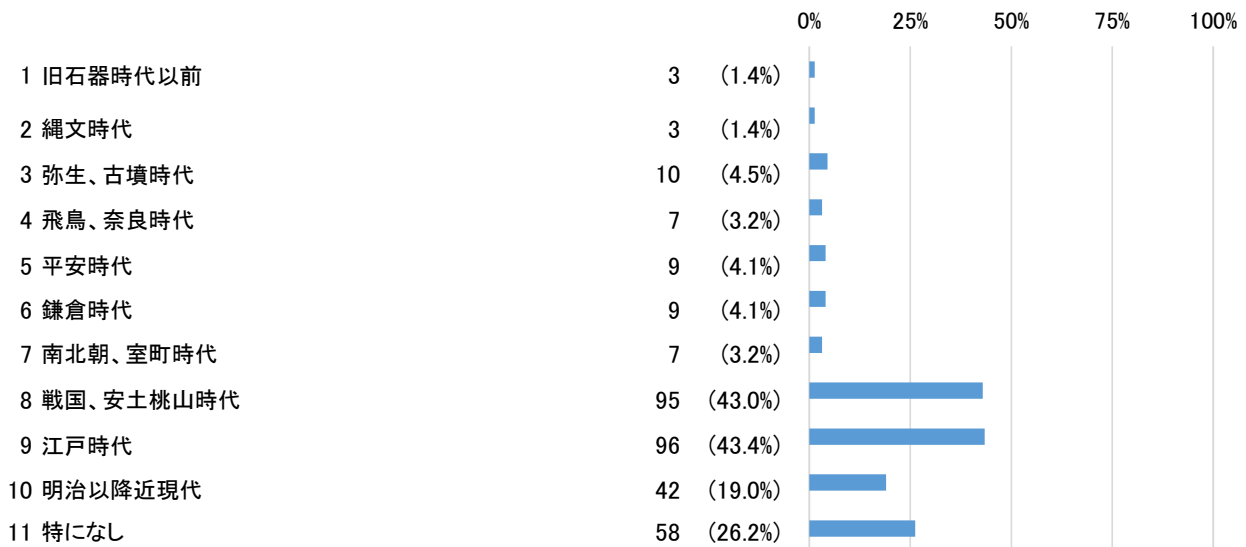
### 質問4

姫路市は豊富な文化財を有しており、国・県または市の指定件数は339件あります。どの分野が特に優れていると思いますか(回答チェックは3つまで)。



## 質問5

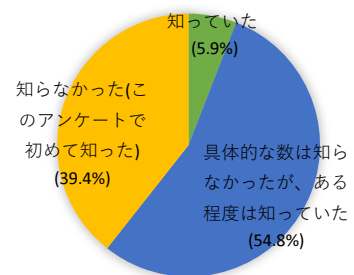
姫路市の歴史で、どの時代に魅力を感じますか(回答チェックは2つまで)。



## 質問6

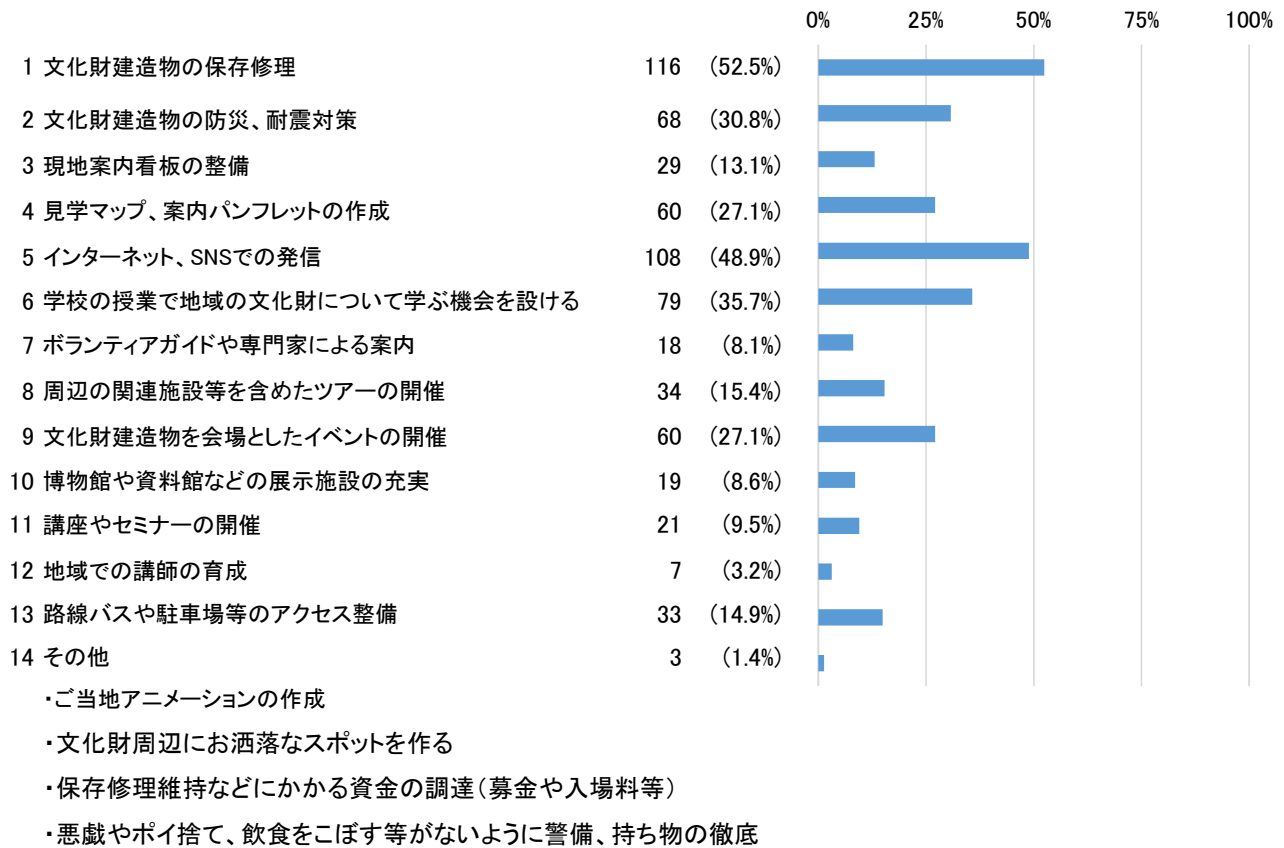
姫路市の文化財建造物について伺います。姫路市は指定文化財建造物の指定件数が69件あり、姫路城以外にもたくさんの文化財建造物を有していることを知っていましたか。

1 知っていた	13	(5.9%)
2 具体的な数は知らなかったが、ある程度は知っていた	121	(54.8%)
3 知らなかった(このアンケートで初めて知った)	87	(39.4%)



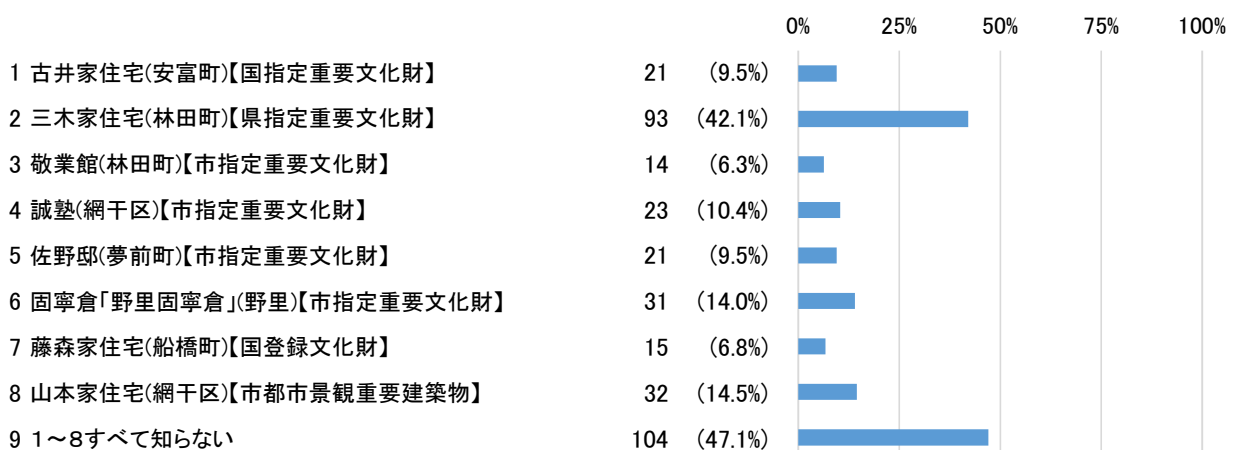
## 質問7

姫路市の文化財建造物を保存・活用するために、こういったことを優先に進めたいと思いますか(回答チェックは3つまで)。



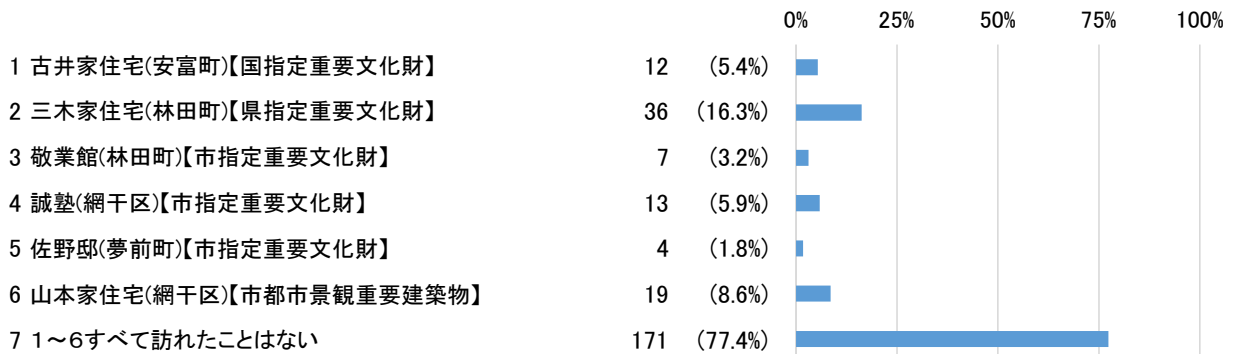
## 質問8

姫路市教育委員会では以下の建造物を所有・管理しています。これらの建造物を知っていますか(知っているものをすべて選んでください)。



## 質問9

姫路市教育委員会が公開している以下の建造物を、訪れたことはありますか(訪れたことがあるものをすべて選んでください)。



## 質問10

問9で訪れたことがあると回答した方にお伺いします。訪れた際の感想について、聞かせてください。

- ・丁寧な保存・管理状態で、歴史的空気感、価値などを感じることができた
- ・すばらしい。多くの人に知って欲しい
- ・歴史的な建造物を維持、保存していく必要性をさらに感じた
- ・現代建築にはない様式がカッコ良く感じられた。そのまま残していくことが一番だと思った
- ・風情がある
- ・昔の暮しを体感できた。テレビや映画のセットは忠実だなと思った
- ・保存状態がいい
- ・ボランティアの人が案内してくれたのが良かった(よくわかった)
- ・イベントに訪れ、そのどっしり感、土の匂い、生活感、木のあたたかさ、日本の誇りだと感動した
- ・なかなか申し込んでも当選しないのが残念
- ・より必要に応じ、保存・修理・PRを行う予算を確保する
- ・ボランティアの方からのたくさんの説明を受けて、文化財についてより関心を持てた
- ・公共交通機関では難しいと思った
- ・文化財保存には、人件費や修復維持にお金がかかるのだらうと感じた
- ・元々、興味がそれほどないので、どこをどう見ていいかわからなかった
- ・観光資源として活用していない
- ・施設の説明だけで、魅力ある説明が少ない。誰が見ても分かる様な文書にしてほしい
- ・新聞で洲濱神社を知り、友人と訪れた。映画のロケもあったようで重厚感があり、庭からの風が心地良かった
- ・予備知識がなく、現地でもよくわからなかった
- ・近隣に文化財があり、身近に感じた
- ・普段見ることができない古民家を子どもも見ることができてよかった
- ・歴史を知る事の大切さ、生活されていた背景を感じる事が出来て良かった
- ・当時の雰囲気が伝わる生き証人だと思った
- ・建造物巡りのガイドコース案内などがあると便利さを感じる
- ・ミニコンサートがあり、古い物を維持しながら、きれいに整備され市民に解放されているのが良かった。敷居が低く感じられる
- ・耐震構造がないので、地震が起きれば危ないと思った

## 質問11

文化財に指定された古民家は、多くの規制により文化財的価値を保護しています。このような古民家について、今後どのように運営したらよいと思いますか。

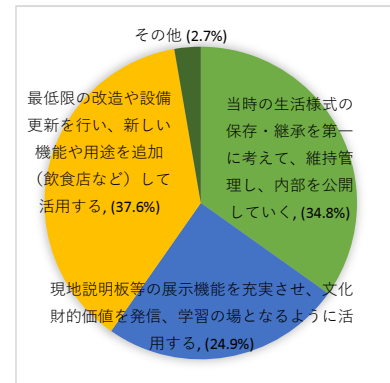
1 当時の生活様式の保存・継承を第一に考えて、維持管理し、内部を公開していく	77	(34.8%)
2 現地説明板等の展示機能を充実させ、文化財的価値を発信、学習の場となるように活用する	55	(24.9%)
3 最低限の改造や設備更新を行い、新しい機能や用途を追加(飲食店など)して活用する	83	(37.6%)
4 その他	6	(2.7%)

・用途を限定してしまうと弊害が出ることもあるので、規制は設けつつもう今は作ることができない大切な古いものはすぐ壊すのではなく、まず一旦残せないかを検討することが大事だと思う。

・宿泊施設として民間に貸出する

・古民家の文化的価値を理解していないので、それに公的に費用をかけて保存する必要を感じていない

・1と3の融合。飲食店というよりは、イベントスペースといった使い方で、時々開放。



## 質問12

問11で新しい機能や用途を追加して活用すると回答した方に伺います。どのような機能や用途を追加すべきだと思いますか。

1 喫茶店	69	(31.2%)
2 料亭	6	(2.7%)
3 物品販売店舗	10	(4.5%)
4 旅館	18	(8.1%)
5 貸館(展示場、会議室など)	11	(5.0%)
6 その他	107	(48.4%)

・居酒屋

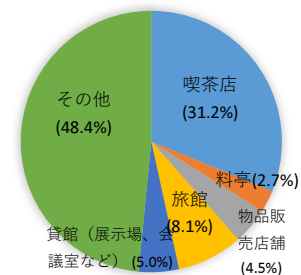
・その時代背景の説明

・喫茶店と物品販売

・限定すべきではなく、そのサイズと場所、アクセス等に合わせて判断すべき。

・学校などのイベントできるように活用する

・建物に追加するのではなくて、建物の近所にちょっとしたアンテナショップや道の駅やカフェコーナーがあるとうれしい。地元食材の甘味処。



## 質問13

問12で回答した方に伺います。選んだ理由をお聞かせください。

### <1 喫茶店>

- ・古民家カフェがはやっている
- ・活用、人が入ることで収入も得ることができるかと思うから
- ・誰でも気軽に行きやすいから

- ・文化財の見学だけでは足を運ぶ人が少ないと思うので、カフェ併設など、何かと一緒にすることによって、行ってみようかなと思う人が増えそうな気がする。
- ・若者が気軽に入れて、SNS等で情報が拡散され、感触がよければ、訪問客なども増える可能性を感じたから
- ・地域の特産品を生かしたランチやスイーツを開発して、人気になれば人の往来が増えて活性化をはかることができるのでは。
- ・歴史的建造物がカフェとして運営されている例があり、あまり歴史に興味がない人でも訪れるきっかけとなるのではないかなと思う。

- ・料亭だと入りにくい、喫茶店だと気軽に入りやすく、多くの人に文化財に触れる機会が増えると思いました。カフェや喫茶店を経営したいと言う人も多いと思うので、場所を提供と言う意味でもいいかなと思いました。

- ・古民家が建築された当時の食文化(その当時のお菓子など)に触れられる場作りと、気軽に立ち寄れるカフェのようなものがあると、身近に感じて行きやすくなると思います。近年増加している古民家カフェとの異なる特徴があるとよいです。神戸の旧居留地の要素もあると観光に行きたくくなります。

- ・ハードル低く、かつ大勢の人が興味を持つから
- ・綺麗なものを見ながら 美味しいものを食べたいから

- ・旅館だとお客さんの扱いによって傷んでしまいそう。喫茶店など滞在時間が短いお店なら、建物を傷めず良さそう。

- ・料亭は金銭的に若い人が入りにくいイメージ、物品は好みが分かれてしまう、旅館は立地が売り上げに影響してしまい長続きしなさそうなので、老若男女入りやすく見た目も金銭的にも楽しめるから。また、最近古民家カフェが流行っているため。

- ・学生でも行きやすい。友達との遊び場になればいいと思う。若い人の身近な場所にして欲しい。

- ・料亭は入りにくいイメージがあるのであまり人が来ないと思います。物品は好みが分かれるのでやめた方がいいと思います。旅館は来る機会が少なくかつ、立地に寄って宿泊客数も変わるのでやめた方がいいと思います。貸館は展示のみであればあまり人が来ないと思うから。また、最近古民家カフェが流行っているから。

- ・地元の食材を使ったランチやスイーツ、飲み物で滞在しながら楽しめたらいいと思う。そこで体験もできればなおよい。

- ・その様な場所で落ち着いてお茶を飲みたい。

- ・単純に文化財として保全するのではなく、地域住民の憩いの場として後世に残せるものになればいいと思ったから。また、文化財の多くが歴史的なものだと思うので、それを視覚や嗅覚だけでなく、味覚としても楽しめる要素があってもいいのではないかなと思ったから。

- ・古民家など普段あまり触れない(かもしれない)高校生とか若い人がへー！そんなところもあるんだって興味を持つと思うからです。

- ・観光客を増やすには、古民家的なオシャレな喫茶店、雑貨店を複数作って、ガイドブックなどに載せたりして観光客を増やすと、自然と周囲にある文化財とセットで認知が高まると思う

- ・全てを喫茶店にしたらいよという訳ではなく、中には保存するだけでは大変なこともあるかもしれないので、最低限の手を加えて現代にあった形にして皆んなに親しんでもらうことも必要な時代なのかなと思う。でも姫路城のようなそのままの形があることが大切なものは、何があっても現代的な手を加えず昔の形を維持して欲しい。保存することにお金がかかって大変になるのであれば、それを補いながら共存出来る方法を考えることもあっていいと思う。

- ・古民家カフェというのが今流行となっている事と、海外からの観光客の人が観光のついでによってくれると思うから。

## <2 料亭>

- ・料亭にすることで雰囲気も保たれ、高級感のある落ち着いた空間を演出できると思ったから
- ・維持・管理だけでは再訪が期待できないので新しい機能を加えることが必要だと思います
- ・大切な文化財なのである程度モラルのある客層をターゲットにした方がいいと考えたので高級感のある料亭を選択した

## <3 物品販売店舗>

- ・誰でもふらっと立ち寄りやすいから



- ・ 買い物が楽しめるから
- ・ 古民家との兼ね合いから大きな建物等を考慮したら、物品販売が妥当だと思います
- ・ 飲食店よりも、ガスや火を使わず文化財を傷めないのではないかと思います、物品販売店舗を選びました。何度でも訪れたくなるような、少しこだわった食材や、スイーツなどがあれば楽しく買い物が出来そうです。
- ・ 今までに数多く古民家を改装した物品販売店に行ったことがあるので
- ・ 設備投資費が少なく済む
- ・ 記念にお土産を買うことにより、楽しみが増え、地域や経済が活性化すると思ったから
- ・ 古民家文化財だけでは存続は出来ない。固定費を捻出して特産物販売を促進すべきである

#### <4 旅館>

- ・ 宿泊しながらゆっくり見学できるのが魅力的だと感じます
- ・ 特に外国人の方が好んで泊まりそうなので
- ・ 地元だけでなく地方の方にも実際泊まってもらい情報を発信してもらう
- ・ 時間をかけてみる事ができる
- ・ 姫路市には、歴史的な宿泊施設が少ないと予てから思っていました。観光の立ち寄り場所としての魅力はあると思いますが、夜は、宿泊地の神戸や有馬へ移動する方が多いのではと思います。
- ・ 特別感があるから。古民家カフェやレストランは流行りだからどこにでもある。他と差をつけるには泊まれた方がいいのではないかと
- ・ 外国人向けシェアハウス
- ・ 古民家に興味があり、リノベーションされた古民家カフェや旅館を利用したいと思う。そのままの形で維持保存も良いなどは思うけど、使ってこそその家だと思う。
- ・ 期間限定宿泊体験とか、常設でない方が管理しやすそう
- ・ 歴史のある古民家で宿泊する機会があまりない
- ・ 歴史的空間に触れながら宿泊することはとても貴重な体験だと思うし、「大昔の人はここで何していたのだろう。」などと姫路の歴史について考えるきっかけにもなりとても興味深いから。
- ・ 文化財だけを見に行くというひとつの目的だけではなく、そのあと宿泊する目的があれば、より深く文化財を理解する機会になると思います。地元食材の料理やスイーツが提供できれば、そちらの方面から文化財に興味を持ってもらうきっかけになるかもしれません。
- ・ 例えば、戦国、江戸、明治・・・という歴史の変遷を中心とした観光案内ルートを確認させる中で、その宿泊施設や食事処、または喫茶店など、文化財を肌で感じ取れる施設として活用が図れないかと考える。

#### <5 貸館(展示場、会議室など)>

- ・ 広く一般に情報提供するために必要
- ・ 姫路市の地域産業品の展覧などに使用するなど、市民や市民以外の人も呼び込む機会を作る
- ・ 飲食や宿泊を扱うとどうしても油污れや害虫が発生するなど建物に傷む可能性があるため除外、物品販売店舗は継続した運営が難しいかもしれないので除外。貸館であれば、施設の広さやアクセス面、外観など、使う側の様々な希望から利用される可能性があり、運営する際の人件費や維持費も高くないように思う
- ・ 古民家でいろんなイベントを実施し、マスコミを利用し発信し、集客を図る
- ・ 行く機会を作る
- ・ 当時の形が壊されにくいと考えたから
- ・ お店経営は、せっかく開店しても客が出入りが無ければ儲からないし、最近、出沒しているバクッターが、とんでもない事をして大損害を出したりしているので、貸館の方が安全に使いやすいと思います
- ・ その場所に魅力を感じている人、そこで何かができたらいいなと感じている人は一定数いるように思います。『これ』と限定するのではなく、何かをやってみたい人に期間限定で貸すと、色んな可能性が見えてくるのではないかと思います

#### <6 その他>

- ・ (居酒屋)姫路の名産の日本酒をアピールするため。気軽にお酒を楽しめる環境で、播磨に多くの酒蔵があることを発信するため。
- ・ (喫茶店と物品販売)旅館、料亭となると、喫茶店より初期投資など手続きが多くなるような気がします。
- ・ 喫茶店(カフェ)と物品販売とコラボすると 初期投資もまだ少なく 幅広い年齢層のお客さんが来られるかと思いました
- ・ (限定すべきではなく、そのサイズと場所、アクセス等に合わせて判断すべき)用途を限定するのではなく、その都度判断してただ保管するのではなくて使用していかないと建物はある意味死んでしまうのでうまく活用する知恵を集めたらよいと思う。文化財を後の世に残そうと民間でも頑張っている方々に先日お会いする機会があり官民両方で努力するとさらに良い効果が生まれるはずと期待している
- ・ (学校などのイベントできるように活用する)若年者にもっと知ってもらう必要があると思う。今から小中学生に教える。その場に行って知ってもらう。校外学習を行う(教室学習は印象に残らない)などキャリアフロンティアの一貫にしたいと思う
- ・ (建物に追加するのではなくて、建物の近所にちょっとしたアンテナショップや道の駅やカフェコーナーがあるとうれしい。地元食材の甘味処)買い物して、お茶出来ると、ドライブやサイクリングや散歩の目標にもなる
- ・ (地域コミュニティの場合)保存、継承、維持管理の為にイベント時などだけの利用では無く普段から地域の方にその場所を利用してもらい尚且つ文化財としてのイベントなど幅広い使い方をすることが良いと思った
- ・ (何も手を加えずそのままがいい)媚びて中途半端に手を加えず、そのままがいい。維持費がかかるのなら拝観料を徴収してください。それより宣伝不足です。知らない邸宅ばかりです

## 質問14

その他、姫路市の文化財保存・活用についてご意見があれば聞かせてください。

- ・ 文化財は市の大切なものです。どんなものがあるのか周知されるシステムがあればいいなと思います
- ・ SNSやメディア等、映える風景の露出を高めることに限ると思います
- ・ 個人所有のものへの補助、買い上げによる保存。赤穂では歴史的な民家に取り壊しになった話をききました。近現代の建物などの保存。手付かずなきがします。
- ・ 町案内地図看板(文化遺産のような名所が書かれているもの)が子供も好きで、よく見えています。町探検が好きなので子供と一緒にその看板を見て散歩コースを決めたりして他の地域にもあれば、地域に愛着がわくと思います。
- ・ できるだけ収益を得て、その収益で補修、保存できるような活用をしてほしい
- ・ 旧姫短の建物も魅力的ですね。一般の古民家もカフェや居酒屋にして、気軽に足を踏み入れることが出来るようになると楽しいと思います
- ・ (保存)天災が起きた時にどう、動くか？建物自体の事も大切やけど、起こった後の対処のスピードが必要やと思います。(活用)本当に大切に思い活用できる事をよく考えて活用できるなら活用して欲しいです
- ・ せっかくある文化財を知らないことは残念ですし、もったいないと思いました。次の世代に引き継ぐために保管することも大切だと思いますが、そもそも知らなかったり思い入れがなかったりする人が多いと、ただ存在する、だけになってしまうと思うので、もっと身近に感じられるものになるといいと思います
- ・ 姫路市等周辺市町の観光にかかる行程が、宿泊を伴うような魅力あるものに成るよう、定期的な運営検討会を実施する
- ・ 姫路に来て4年半ですが、姫路城は訪れる度にその美しさに感動するので子どもたちの教育を充実させて伝承してほしいです
- ・ そこに存在する、時代背景も同時の、説明が欲しい
- ・ 今回のアンケートで初めて知ることが多かったです。長年姫路に住んでいてもこんなかんじなので、もっと知る機会があったらよかったのになーと思いました
- ・ まずは文化財の周知(イベントやツアー、スタンプラリーなど)、京都のようにバスやタクシー等で訪れやすくする。遊園地や動物園のようにSNSで呟いて認知度アップを図る
- ・ 姫路といえば城だけという意見をよく聞かすが、否定できないと思う。書写山もアピールしてるが、結構な時間と費用がかかる割に、京都奈良の文化財とは比較にならず、他府県の文化財と比較しても「普通っぽい」。アンケートにある「林田」や「安富」などのド郊外にある古民家に興味持って見学に行くニッチな層はなかなか居ないでしょうし

- ・ インスタなどでパワースポットと評判の神社などもいくつか行ったが、確かに景色や自然環境はいいが、建物の改築・補修が悪目立ちして違和感が凄いという場所がいくつかあった。あれなら、大きくない・お金掛けれていない神社の方がよっぽどいい
- ・ 白すぎ城と言われたり、姫路の文化財改修は下品だと思う。地域の地味な神社とかを紹介して、その近所のカフェマップでも作った方がよっぽどセンスがあると思う
- ・ 文化財を廻るバスツアーなどあれば参加してみたい。(一度に何ヶ所か訪れる、ガイドの説明あり)普段公開していないところを特別公開などがあると良いです
- ・ 姫路城の宿泊は、面白い取り組みだと思った
- ・ 先ず耐震防火対策の徹底と不心得者の落書き等の被害の防犯対策を講じて頂きたい。活用する場合は、近隣住民の意見を反映し後々不満や迷惑が掛からないように留意した対策と発展を図って頂きたい
- ・ 学校教育の過程で、歴史に絡めて文化財、美術品を学ぶ機会が少ないと思う。若い時に興味を持つ機会を設けるべき。文化財カフェは観光客を呼ぶ機会にもなると思う
- ・ 姫路は文化財が多い割にお城くらいしか周知されていないと思う。観光客向けにお城以外もまわれる、例えばバスのツアーを組んだりして、姫路駅から少し離れたところも回れるようにしたほうが、面白味があると思う
- ・ こういった情報はわざわざ調べようとしない限り一般に余り知られていないように思います。勿体無いと思うし、今までのように広報紙とかでは若い世代は見えてないのでinstagramやSNSなど日常で目に留まりやすい媒体でそろそろ発信する力を持つべき時代です。新採用の職員は最初いわゆる仕事はできないかもしれないけどそういった力はかなり長けているはずなので発信してもらったらいいと思う
- ・ 文化財と音楽等の芸術をコラボさせて、古き良き空間で新しい芸術に触れる機会を持たせるなどのイベント開催
- ・ 学校の授業や課外活動で学ぶ機会があると大人になってからもまた行ってみたいと思う。私自身、高校時代にお城の清掃や授業で歴史博物館によく行っていたので、興味や関心を持つことができた
- ・ 文化財は子連れでは行きにくいです。文化・伝統の素晴らしさを子どもに見せてあげたい触れさせたいと思いつつも、親もそこまで興味がなく「楽しめる」という観点では、お出掛け候補に入りません。キャラクターとのコラボやイルミネーション、花火、謎解き、体験など子どもも楽しめる要素があれば、休日にお出掛けする候補に入ります。そのような活動を期待しています。
- ・ 姫路市にどのような文化財があるかの周知が必要。市民が文化財の大切さを意識することが文化財保存・活用のために不可欠。周知させるには地域テレビ、街頭テレビ、インターネットによるのが効果的。紙媒体は殆ど読まれない
- ・ 先日まで行われていた、お城を背景にした歌舞伎の案、素晴らしいなと感じました！文化財が、エンタメと融合することで興味を持つ人の幅が広がり、そこから文化財へ目を向ける方が増えるといいなと感じています。今回、アンケートに答えさせてもらったことで、私自身、少し文化財に興味を持ちました。ありがとうございます
- ・ これから保存していくのには財政面でも苦慮してくると思う。今、文化財が必要と思っているのは年配の方が多いかと考えます。若年層にいかにか知ってもらうか、特に小中学生(高校になると就職場所を決めてくるので地元に残りたいと思ってもらえるプレゼンしやすい年代が小中学生か)には現場で学習してほしいと思う
- ・ 地域の食と文化財とのコラボ企画があれば魅力的。特に日本酒はインバウンドから見て、日本に来たら味わいたい食の一つだと思う。そのほかにも姫路には和菓子の文化があり、文化財のなかでワークショップを開催したら行ってみたい
- ・ 姫路城のガイドが有料と聞いているが、無料がいいと思う
- ・ 調べなくても知れるような掲示とかがあれば行く機会が増えると思う
- ・ 姫路市の文化財についての講演会をしてほしい。どんな建造物がどこにあるのかを知りたいし、機会があれば見学してみたい
- ・ 奈良の刑務所に宿泊出来るように、文化財や古民家で宿泊出来るようにしてほしい
- ・ お城だけでなく、魅力ある商店街を考え観光客が立ち寄りたくなる、商店街を造るべき
- ・ 個人にお金の負担が無く、それでいて守ってください。技術においても支援を
- ・ 子どもと一緒に訪問し学習出来たらいいな、と思う。子育て案内のパンフレット等に載せたらいいのかな？と思う(もう載せてあれば申し訳ないです)またその際に子供が楽しめるような場所があれば嬉しい
- ・ 姫路城の周りの城下町も充実させ観光誘致に活かして欲しい
- ・ スタンプラリーでバッジがもらえる(手柄山のスタンプラリーみたいな感じ)。イラストや写真入りのわかりやすい案内板(文字ばかりだと、全部読んで理解するのが大変)。ゆるキャラ考えるとか。

- ・ 期間を決めて一般公開する。見学ツアーを開催する
- ・ 勇気を持って取り壊しの選択があっても良いのでは？
- ・ 市主催で、勿論有料で文化財建造物ツアーを開催してください。貴重な建造物の存在を多くの人に知ってもらって、維持費はふるさと納税からは、どうでしょうか？
- ・ ただ存続するだけでなく、もっと市民が親しみを感じられる場所にできればと思う

姫路城に行く外国人は大勢いるが、その他の文化財を訪れる外国人はものすごく少ないと思う。姫路に住んでいる私も姫路市の文化財の事をほとんど知りません。なので、姫路駅や姫路城から行ける文化財マップを駅やコンビニ等に置き、周知していく事が大切と思う。しかし、姫路城は美しく見る価値もある気がするが、文化財ではあるが単なる古民家を見て、素晴らしいとはあまり思えない気がする。なので、古民家は喫茶店や姫路でしか買えない特産品を集めたお店等にし、付加価値を持たす等、活用していく事が大切だと思う

- ・ 文化財について面白い切り口でまとめたコラムやホームページがあるといいと思う
- ・ 市内にある古民家は最近建て替えが進み減少している。倉敷の美観地区のように検討して欲しいと思う。最近野里地区、網干地区で古民家が公開されました。まずここから対策対応して欲しいと思う
- ・ 普段の生活の中では発見しにくいので、学校等の授業を通じて子供から大人への発信していくことが重要だと思う。一般公開の期間を増やして家族で見学や学習の場を広げていけたらいいと思う
- ・ 他の自治体と比較して多いということのPRと、保存技術をもった人材育成は力を入れてほしいと思う
- ・ 文化財の大広間で落語家を招いて寄席を開いてみては、どうでしょう

姫路の文化財、例えば地場産業にしても、姫路市民ですらあまり知らないと思う。もっと小学生とかから、見学に行ったり、外国のお客様に案内したりするシュミレーション授業をしたり、もっと地元を好きになるように教育していかないと、人が外へ流出して人口も減って行ってしまうと思う。地元で誇りを持つ人が増えれば自然と保存する意欲も上がると思う